



今回は、今春、九州大学 理学部 地球惑星科学科に進学した城森つぶらさんの合格体験記を紹介します。

学習の習慣化

私が志望校を最終的に決定したのは、共通テストを受験した後でした。私は宇宙・物理に関心があったので、それらを学べる大学を数校ピックアップしておき、共通テスト受験後のリサーチの判定に基づいて、自分のレベルに最も適していた九州大学を受験することを決めました。

日々の学習で心がけておくべきことは、継続すること、自分の意思で行動することだと思います。まず、継続についてです。私は、各教科で1日にこれだけは勉強するというノルマを課して勉強していました。高校1年、2年の内は得意科目に時間を多く割きました。3年生になり、部活を引退してからは、苦手科目の克服のため、苦手だった化学、数学に多くの時間を割くように勉強をしていました。理科を得点源にしたかったので、余裕のあった物理は1日で二次試験の問題を1年分、化学は2日で1年分解くと決めていました。実際に受験した際には、日々の演習で解いた問題と似た問題が出題され、理科で高得点を取ることが合格につながったと思います。次に、自分の意思で行動することについてです。自分が何が苦手なのか、本当にわかっているのは自分自身です。苦手科目の克服においては、自分に今必要なものに何かということをしかりと把握することが重要です。与えられた課題をただこなすのではなく、自分の意思を持って勉強することが大切だと思います。

次に、部活動との両立についてです。私は運動部に所属していたので、平日にあまり学習時間を確保することができませんでした。そのため、昼休みの食事を早く済ませ、残った20分程で質問に行くようにしていました。また、自分の学習に時間を割くために、通学時間に宿題を終わらせるよう心がけていました。部活と勉強を両立させるためには、学習の習慣化が最も大切だと思います。勉強をする気分になれないときは、好きなアーティストの曲を大音量でかけながら好きな科目の問題を解いていました。本当に精神的・肉体的に辛くてたまらないときは何もせず寝ていました。

受験をする上で、どれだけ多くの問題に触れたか、どれだけ多くの知識をたくわえたか、が本当に重要になってきます。教科書・資料集で知識を身につけ、入試問題を通してアウトプットすることの繰り返しで高い二次力を得ることができます。受験までは本当にあっという間です。後悔のないよう、早いうちから全力を尽くしてください。逃げずに学習に向き合うことはきっと人生の糧になると思います。応援しています。

担任の先生より

振り返ってみると、卒業生一人ひとりに進路決定までの壮絶なドラマがあったと思います。それらを単に「〇〇大学〇〇学部〇〇学科合格!(祝)」という言葉にしたところで、その人の努力等をすべて表現したことにはならないのかもしれませんが。私が重要だと思っていることは、「受験から逃げずに正面から向き合い、前向きな努力を重ねることができましたか?」という一点に尽きます。この問いに、「はい」と即答できた人は、受験の合格否に関係なく、自らの成長をこの純心で実感できたことでしょう。受験はあなたたち自身をより高みに導いてくれる絶好の機会なのです。4月から、無事進学することになった人の中にも、受験の結果に不満を抱えたままという人もいるかもしれません。しかし、進学することになった学校があなたにとって最高の学び舎であるという気持ちを持ってもらいたいです。多くの人たちにとって、大学時代は、これからどういう仕事についてどういう形で社会に貢献していくのかを考える時間になります。色々なことを考えながら、今までやってこなかったことにトライしつつ、自分にはどういうポテンシャルがあるのかを発見する時間にしてほしいと思います。

もう一度志望校にチャレンジすることを決意した人は、来春、純心にぜひ吉報を届けてください。あなたたちとの再会を楽しみに待っています。